

国語科 小学校 第5学年及び第6学年

A「話すこと・聞くこと」の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
伝えたいことを話したり聞いたりする活動		
<p>思考に関わる語句を話の中で使っている。</p> <p>文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の特徴について理解している。</p> <p>日常よく使われる敬語を理解し使い慣れている。</p> <p>情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。</p>	<p>「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、聞き手の興味・関心や情報量などを踏まえて話す内容を検討・整理している。</p> <p>「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にするために、事実と感想、意見とを区別したり、詳しい説明を付け加えたりするなど、話の構成を考えている。</p> <p>「話すこと・聞くこと」において、資料を用いる目的や意図、必要性等を明確にして、資料提示の仕方等を工夫している。</p> <p>「話すこと・聞くこと」において、話し手の考えと自分の考えとを比較して共通点や相違点を整理したり、共感した内容や納得した事例を取り上げたりして、自分の考えをまとめている。</p>	<p>今までの学習を生かして、情報と情報との関係を意識して説明の仕方や資料等の提示の仕方を考えたり、事例の取り上げ方を考えたりしながら、伝えたいことを話したり聞いたりしようとしている。</p>
情報を収集したり発信したりする活動		
<p>思考に関わる語句の量を増し、話の中で使うとともに、語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにしている。</p> <p>情報と情報との関連付けの仕方を理解して使っている。</p>	<p>「話すこと・聞くこと」において、集めた材料を、インタビューをする目的や意図に応じてまとめたり、互いに結び付けたりしている。</p> <p>「話すこと・聞くこと」において、自分が聞こうとする意図に応じて話し手の考えと自分の考えとを比較して共通点や相違点を整理したり、共感した内容や納得した事例を取り上げたりして自分の考えをまとめている。</p>	<p>学習課題に沿って、話し手の考えと自分の考えとの共通点や相違点といった、情報と情報との関連を理解し、積極的に情報を収集したり、適切な語句を使って自分の考えを発信したりしようとしている。</p>
目的に応じて話し合う活動		
<p>話し言葉と書き言葉との違いに気付いている。</p> <p>語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。</p>	<p>「話すこと・聞くこと」において、相手や目的に応じて、集めた材料を、話す目的や意図に応じてまとめたり、互いに結び付けたりして話している。</p> <p>「話すこと・聞くこと」において、賛成又は反対などのそれぞれの立場を明らかにした上で考えを述べ合い、自分の考えを様々な視点から広げたり、互いの考えを比較したりしながら自分の考えをまとめている。</p>	<p>学習の見通しや話し合いの目的を明確にし、互いの立場や考えを理解したうえで、適切な語句を使って考えを述べ合い、話し合おうとしている。</p>

B 「書くこと」の評価規準の設定例・

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
意見文を書く活動		
<p>語や文章の構成や展開について理解している。</p> <p>語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。</p> <p>原因と結果など情報と情報との関係について理解している。</p>	<p>「書くこと」において、題材に関する情報の中から、主張の理由、事例として適切なものを選んでいく。</p> <p>「書くこと」において、「頭括型」「尾括型」「双括型」等文章全体の構成や展開を工夫している。</p> <p>「書くこと」において、意見を明確に伝えるために、詳しく書いたり端的に書いたりする場合を判断しながら書き表し方を工夫している。</p>	<p>意見を伝える文章を書くために、学習の見通しをもち、語感や言葉に対する理解を高めたり、積極的に情報を収集し、情報の関係を考えながら構成や展開を工夫したりするとともに、意見を明確に伝えるために、書き表し方を工夫しながら書こうとしている。</p>
説明文を書く活動		
<p>言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。</p> <p>文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書いている。</p> <p>説明に関わる語彙の量を増やし、文章の中で使っている。</p>	<p>「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えていく。</p> <p>「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想とを区別して書くなど、書き表し方を工夫している。</p> <p>「書くこと」において、説明するために引用したり、図表やグラフなどを用いたりしている。</p>	<p>説明する文章を書くために、説明するための語彙を増やして、事実と感想を区別し、進んで必要な図表などを用いたりしながら、相手に分かりやすく書こうとしている。</p>
活動の報告を書く活動		
<p>原因と結果を表すための文の中での係り方や語順、文と文との接続の関係などについて理解している。</p> <p>原因と結果など情報と情報との関係について理解している。</p>	<p>「書くこと」において、事実と考えとを区別し、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。</p> <p>「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、推敲の観点をもって学習過程全体を振り返っている。</p>	<p>活動の報告を書くために、学習の見通しをもち、情報と情報を関係付け、事実と考えを区別して書いたり、構成や展開を推敲するという観点をもとに、学習過程全体を振り返ったりしようとしている。</p>

短歌・俳句をつくる活動

<p>文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係などについて理解している。</p>	<p>「書くこと」において、七音五音を基調に全体の構成や展開が明確になるように語順などを整えている。</p> <p>「書くこと」において、全体の構成や展開が明確になっているか感動が伝わる言葉であるかなど感想を伝え合っている。</p>	<p>短歌・俳句をつくる活動を通して、文の中の語句の係り方や語順を理解したり、構成や展開が明確になるように語順を整えて書いたりし、つくった短歌・俳句を友達と読み合い、積極的に感想を伝えようとしている。</p>
---	--	--

随筆を書く活動

<p>比喻や反復、倒置や体言止めなどの表現の工夫に気付いている。</p>	<p>「書くこと」において、自分について集めた材料を分類したり関係付けたりして伝えたいことを明確にしている。</p> <p>「書くこと」において、自分の文章のよいところを見付けている。</p>	<p>随筆を書く活動を通して、比喻や反復、倒置や体言止めなどの表現の工夫に気付いたり、進んで自分について集めた材料を分類・整理しながら書き、自分の文章を読み直してよいところを見付けようとしている。</p>
--------------------------------------	--	--

C 「読むこと」の評価規準の設定例・

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
分かったことや考えたことを話し合う活動		
<p>情報と情報との関係や情報の位置付けを示唆する語句などを理解し、話の中で使っている。</p> <p>文と文との接続の関係、文章の構成や展開、説明や解説といった文章の種類や特徴について理解している。</p>	<p>「読むこと」において、全体を通してどのように構成されているのかを正確に捉えている。</p> <p>「読むこと」において、書き手が自分の考えを適切に伝えるための論の進め方、説得力を高めるための理由や事例の使い方などについて自分の考えをもっている。</p> <p>「読むこと」において、意見や感想を話し合うことを通して、互いの違いを明確にし、よさを認め合い、考えを広げている。</p>	<p>目的に応じて、読み方を考えたり、論の進め方や事例の使い方についての考えを積極的に話し合いながら互いの違いを明確にしようとしていたりしている。</p>

分かったことや考えたことを文章にまとめる活動

<p>情報と情報との関係、比較・因果関係を表す語句など思考に関わる語句を使っている。</p> <p>文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、文章の構成や展開について理解している。</p>	<p>「読むこと」において、文章全体の構成を捉えて内容の中心や書き手の考えの中心となる要旨を把握している。</p> <p>「読むこと」において、まとめる文章に応じ、必要な情報を取捨選択、整理、再構成している。</p> <p>「読むこと」において、複数の情報を比較、関係付けし、文章を読んで理解したことと既存の知識とを結び付け、自分の考えを文章にまとめている。</p>	<p>自分の課題を解決したいという願いをもち、その課題解決のために、複数の本や文章を比べて読み、情報を多面的に収集しようとしたり、複数の情報を比較、関係付け、整理したりしながら、自分の考えを根拠を明らかにして、分かりやすくまとめようとしている。</p>
---	---	--

伝記を読む活動

<p>思考に関わる語句を使っている。</p> <p>伝記の特徴を理解している。</p> <p>読書が自分の考えを広げることに関わり、役に立つことに気付いている。</p>	<p>「読むこと」において、文学的な描写か、事実の記述や説明の表現かを捉えている。</p> <p>「読むこと」において、複数の叙述を関係付け、生き方や考え方など人物像を思い描いている。</p> <p>「読むこと」において、人物の生き方などから、これからの自分のことについて考えたことを伝え合い、考えを広げている。</p>	<p>伝記を読んで捉えた事実に基づいて人物の生き方を考えたり、自分の生き方と比べたりする中で、身に付いた力を振り返り、自分の生活に生かそうとしている。</p>
--	--	---

物語を読んで推薦したり読書会をしたりする活動

<p>語感や言葉の使い方に対する感覚を意識している。</p> <p>比喩・反復など表現の工夫に気付いている。</p> <p>文章を音読したり朗読したりしている。</p>	<p>「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情を、行動や会話、情景などの描写を基に想像している。</p> <p>「読むこと」において、複数の叙述を関係付け、人物像や物語の全体像を想像したり、様々な表現が読み手に与える効果を考えたりしたことを伝え合っている。</p>	<p>作品に対する疑問を解き明かしたり、課題を解決したりしようという意欲をもち、何度も本を読んで自分の考えをまとめたり、読書会で交流したりすることを通して自分の読みを広げようとしている。</p> <p>物語を推薦するために、自分の課題に沿って、登場人物の相互関係や心情を、行動や会話などの描写に着目しながら繰り返し文章を読み、理由を明らかにして、考えたことを伝えようとしている。</p>
--	---	---

調べたことを報告する活動		
<p>話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。</p> <p>分解・まとめ・類推・系統化など情報と情報との関係付けの仕方、図示による情報の整理の仕方を理解し使っている。</p>	<p>「読むこと」において、調べたことを報告するために、複数の資料を活用し、文章と図表とを結び付けるなどして、文章の中から必要な情報を取捨選択したり、整理したり、再構成したりしている。</p> <p>「読むこと」において、情報の内容を精査・解釈しながら理解したことに基づいて、自分の考えをまとめ、文章に書いたり、発表したりして報告している。</p>	<p>調べたことを報告するために、自分の課題に関係する本や文章を根気よく集めたり、複数冊読んだりしながら、自分にとって必要な情報を取捨選択し、それらに関係付けながら、自分の考えを構築しようとしている。</p>
新聞などを活用する活動		
<p>原因と結果など情報と情報との関係について理解している。</p> <p>読書が自分の考えを広げることに関与することに気付いている。</p>	<p>「読むこと」において、同じテーマについて書かれた異なる新聞社の記事や雑誌、インターネットから得た情報を比較し、編集や論の進め方の違いを捉えている。</p> <p>「読むこと」において、書き手の意図を理解した上で、自分の考えを明確にしている。</p>	<p>同じテーマについて書かれた異なる新聞社の記事を比較し、書き手の意図によって編集や論の進め方が違うことを捉え、読み手に与える印象を考えながら、自分の考えを明確にしようとしている。</p>

「書写」の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「ポスターを書く活動」を通じた指導		
<p>見出しを目立たせるなど文字の大きさを決め、文字の位置、字間、行間などの効果的な配列を考えて書いている。</p> <p>筆記具全体の形状、各部分の材質や形状、色などの特徴を生かし、目的に応じて筆記具を選んで書いている。</p>	<p>相手や目的に応じて紙面全体に対する文字の大きさや配列について見直したり、グループなどでよりよい表現について話し合ったりしながら書いている。</p>	<p>伝えたいことをよりよく表現するために、効果的な筆記具を検討したり、文字の大きさや効果的な配列を繰り返し考えたりしながら書こうとしている。</p>
相手に伝えるために伝達メモをとる活動		
<p>メモを渡す相手が読みやすいように見出しを目立たせるなど文字の大きさを決め、文字の位置、字間、行間などの効果的な配列を考えて書いている。</p> <p>メモを渡す相手が読みやすいように筆記具全体の形状、各部分の材質や形状、色などの特徴を生かし、目的に応じて筆記具を選んで書いている。</p>	<p>文字の大きさ、行間、行の中心などの調和を考え、相手が読みやすいように書いている。</p> <p>書く場面の状況によって書く速さが決まってくることを理解して書いている。</p>	<p>目的に応じた速さで効果的に書くために、文字の位置、字間、行間などの効果的な配列を考えながら、相手が読みやすいように積極的にメモを取ろうとしている。</p>

自分のために聞き取りメモをとる活動

聞き取ったことを、ある程度の速さを意識して書いている。

文字の大きさ、行間、行の中心などの調和を考え、相手が読みやすいように書いている。

書く場面の状況によって書く速さが決まってくることを理解して書いている。

目的に応じた速さで効果的に書くために、文字の位置、字間、行間などの効果的な配列を考えながら、積極的にメモを取ろうとしている。

手紙を書く活動

文字の位置、行間を考えるなど、文字の大きさや配列を考えて書いている。

毛筆などを使用して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書いている。

相手や目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書いている。

相手に思いが伝わるように目的に合った適切な形式に沿って書いているか、文字の大きさを工夫しているか、筆記用具を選んでいるかなどを考えて書いている。

相手に思いが伝わるように、相手や目的に応じて、文字の大きさや配列を考えたり、使用する筆記具の特徴を生かしたりして、進んで手紙を書こうとしている。

書初めを書く活動

用紙に合った文字の大きさを決め、文字の位置、字間などの効果的な配列を考えて毛筆で書いている。

毛筆の特徴を生かして、書き始めから書き終わりまでを効率よい書写のリズムで書いている。

毛筆の形状、各部分の材質や形状などの特徴を生かし、目的に応じて筆記具を選んで書いている。

これまで受け継がれてきた我が国の豊かな文字文化を理解し、身近な文字を毛筆で表すことの意味を考えて書初めを書いている。

我が国の豊かな文字文化を理解し、身近な文字を毛筆で表すことの意味を考えながら、今までの学習を生かして進んで書初めを書こうとしている。